



6月9日(日)「高畑山・倉岳山ハイキング」に出かけました。中央本線「鳥沢駅」を出発して「梁川駅」に至る、約5時間の山歩きです。参加者は、小野勝彦さん、桜井利子さん、町田行弘の3名。桜井さんは昨年8月の「箱根旧街道」以来の本当に久しぶりの参加です。そして、参加者が少なく、かつこのメンバーで出かけたのは、2000年6月4日の「大岳山ハイキング」以来です。桜井さんは、旅行会社のハイキングツアーで知り合った仲間と毎月泊まりがけ山を楽しんでいて、日程のすれ違いが多く、なかなか「WTR CLUB」のイベントに参加できずにいたのです。今後のスケジュールも重なっている様子ですが、今回はラッキーなことに参加できました。このコースは一度歩いたことがあるにもかかわらず…。でも、同じコースでも訪れる季節で景色は全く違いますから、別にかまわないそうです。

思い起こせば、6年ほど前の「大山三峰山ハイキング」が、小野さんと桜井さんが山を趣味として楽しむようになったきっかけでした。あの時は危なっかしい感じでしたが、今はとてもたのもしいなつかしいですね。

傍から見ると父と母と息子といった構成の中高年3人組の山歩きです。



桜井さん、久しぶり！

朝7時30分、JR八王子駅に集合したのは、小野勝彦さん、桜井利子さん、町田行弘の3名でした。今回は少ない参加者です。しかし、桜井さんの参加は本当に久しぶりです。なかなか参加できなかったのは、仲間と泊まりがけで山にでかれることが多く、見事に日程が重なり続けたからなのです。この日はたまたま予定がなかったので、一度訪れた山であるにもかかわらず、会うことができたのでした。

小野さんの口は今日も快調

7時37分の高尾行きに乗り、高尾で河口湖行きの電車で鳥沢駅へ。鳥沢には8時20分に到着。歩行時間は約5時間、昼食時間を入れても余裕たっぷりです。駅で



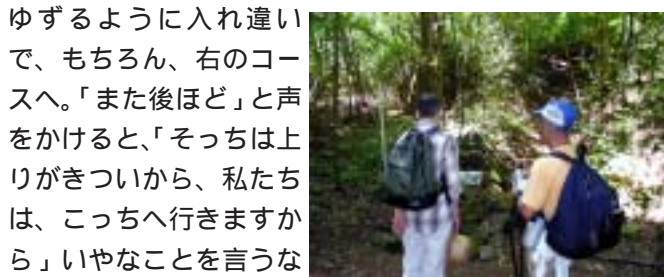
ゆっくりと準備をします。少し腹ごしらえしたり、小野さんは、そこにいた別のハイキンググループに声をかけて話をしたりして、いつものように積極的。そのグループは仲間の到着を待っているようで、「お先に」と声をかけて出発します。駅前を走る国道20号線を新宿方向に約1キロほど歩き、高畑山方面の標識に従って右折し、中央本線を渡ります。桂川を虹吹橋で越えて、林道に入っていきます。小篠貯水池からは未舗装になり、どんどん道は細くなり、やがて横を流れてい



た小篠川と重なり沢歩きのように。道は上りとなり川から離れて林の中を歩くことになります。

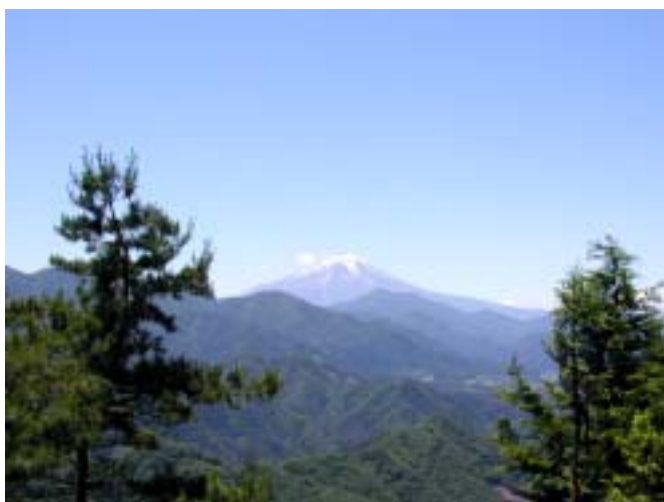
先頭は桜井さん 速い！

しばらくすると石仏のある分岐に到着。穴路峠は左へ、高畑山は右へ。穴路峠は、高畑山から倉岳山へ向かう途中にあります。つまり、高畑山を避けて、倉岳山へ向かうショートカットコースです。ここで、ゆっくりしていると、駅で声をかけたグループが到着しました。場所を





....、そうとうきびしいのかな。確かに分岐からの上りは辛く、山頂までこの調子なのかと不安になってしまいます。しかし、次第に山の斜面を斜めに進むようになり、緑が多くなります。先頭に行くのは、もちろん、桜井さん。相変わらず歩くのがとても速い。それでも今回はゆっくり歩いているのでしょう。山小屋泊まりの山歩きの場合、山小屋には、遅くとも午後3時には到着したいものです。当然、朝の出発は早く、それでも、ペースは速くなります。しかし、今日は日帰り、しかも、陽が長く、時間的余裕があり、さらに桜井さんは一度歩いていますから、心の余裕までたっぷり。ゆるやかな歩き方なのですが、それでも速い。杉林の茶色い景色に変わり、傾斜もきつくなったところ



で、前に行くハイカーのグループに追いつきます。彼らは、石仏の分岐で私たちより先に出発しました。それぞれの休憩の取り方で、お互い前後しながら歩いています。桜井さんのペースに押されて、少しずつ道をゆずられているうちに、11時20分、高畑山山頂到着。石仏の分岐から1時間10分。まあ、ガイドブックの時間通りです。

桜井家の生活費チェック

山頂は適度に広く、富士山がきれいに見えます。やや早い昼食をここで食べることにします。何しろ、季節の変わり目で、上りの暑さに身体が慣れていないという感じです。次の倉岳山への途中でガス欠してしまっはけませんから。小野さんと町田はお湯を沸かしてカップラーメンを食べます。しかし、残った水の量にやや不安を感じます。ここから下るだけなら全く問題ないのですが、もう一つ山に登らねばなりませんから....。教訓です。6月くらいからは水は多めに用意しましょう。食事の話は、桜井さん宅の食費と光熱費。小野さんも町田も多いと感じます。食費、電気代、水道代などどれをとっても高い！半分で済むのでは？桜井さんは、カルチャーショック状態？

でも、お店を経営していて、収入がある時はなんですが、今はお店をやめてしまい、収入はなく、貯蓄を食って暮らしているのですから。今度会う時が楽しみです。



木いちご狩り

富士山をバックに写真を撮り、12時40分ごろに高畑山を下山開始。どこの山でも下り始めは結構急降下。でも、しばらくすると快適な尾根歩きに変わります。桜井さんが先程のハイカー達から、木いちごが採れることを教えてもらいました。確かにたくさん生息していて、実をつけています。採って口に入れると甘酸っぱくて美味しい。果物好きの桜井さん、歩きながら採集しては食べています。そうそう、先程の食費がかかり過ぎている原因のひとつに日々のデザートとしての果物なんてこともありました。でも、この木いちごは食





べ放題でタダ！尾根道が急な上りに変わり、しばらく上ると再び緩やかになり、またまた、木いちごを探して歩くうちに倉岳山山頂に出ます。高畑山から約50分でした。



桜井さん！待って！

ここからの富士山もきれいです。石仏の分岐から同じようなペースで前後するハイカー達は、ここでコーヒータムらしく、鍋でお湯を沸かし始めました。一息ついて、喉を潤すのですが、3人も水はほぼなくなりました。ここからは下だけのはずですから、なんとかならうとは思いますが不安です。冬とは違って下りでも汗ばむ季節になっていたのです。レジャーシートを広

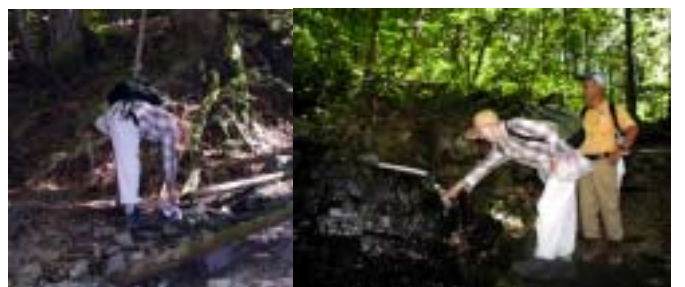


げすっかり腰を落ち着かせたハイカー達に別れを告げ出発します。急降下は最初だけで、とても歩きやすい緩やかな下りの尾根道が続きます。桜井さんが先頭をぐんぐん進みます。「桜井さん！待って！」立野峠の分岐で桜井さんは尾根道を直進して歩いて行きます。実はここでちょっと暗い左の道を下るのです。「だから、私は1人では山へは行けないのよ」山を歩く楽しさにすっかり夢中になってしまおうと自分がどこに向かっていて、現在地はどこで、次のポイントはどこか忘れてしまうのでしょうか。確かにナビゲーターとしてのガイドさんが必要です。桜井さん達は、山へ泊まりがけで出かける時はガイドさんを雇うこともしばしばということ。道案内かつ荷物持ちとして。それにしても、ここは2度目でしょ？



山の営業マン？

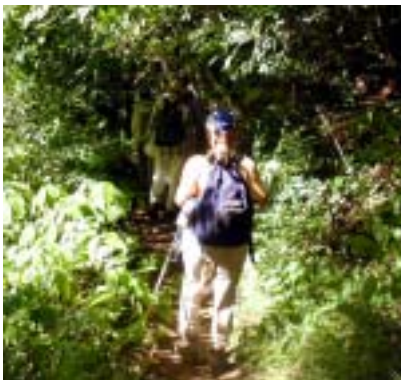
しばらく下ると、沢が現れます。水場として利用できるように管が設けられていました。ここにいたボーイスカウトの指導者に「この水は飲めるのですか」と尋ねると「腹をこわしたということも聞くけれど、一応飲み水らしいですよ」大丈夫だろうと3人もここで水分補給。





下界でのビールまで待てない！ここから沢を横に見ながら下ると20分ほどで再び水場がありました。ここでも

喉を潤し、さらに、桜井さんは顔を洗ってサッパリ。しばらく緩やかに下ると山道が終わり、車道に放り出されました。ここから梁川駅までは車道歩きです。桂川を梁川大橋で渡ると酒屋発見！そして、



そこには鳥沢駅で出会い、石仏の分岐で分かれたハイカー達がビールを飲んでいました。すかさず合流してビールを飲みます。「早かったですねえ」



駅はすぐ上、15時58分の高尾行き普通電車で帰路につきました。今回も小野さんのおかげでいろいろな出会いがありました。山の営業マンって感じですねえ。

